

2024年4月11日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行

「エコ・ファースト企業」への認定について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長^{かめざわ ひろのり}亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下三菱 UFJ 銀行）は、今般、環境省の「エコ・ファースト制度」において、「エコ・ファースト企業」に認定されましたのでお知らせします。

「エコ・ファースト制度」は、環境の分野において「先進的、独自のでかつ業界をリードする事業活動」を行っている企業（業界における環境先進企業）であることを環境大臣が認定する制度です。企業の各業界における環境先進企業としての取り組みを促進することを目的としています。

MUFG は自社の存在意義（パーパス）を「世界が進むチカラになる。」と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまや社会をはじめとする全てのステークホルダーの課題解決に取り組んでいます。三菱 UFJ 銀行は MUFG の一員として、環境保全に向けた取り組みを以下の 3 点にまとめ、「エコ・ファーストの約束」として宣言し、環境先進企業として認められました。

【三菱 UFJ 銀行のエコ・ファーストの約束（概要）】

1. 2050 年までに投融资ポートフォリオからの GHG（温室効果ガス）排出量をネットゼロにすることをめざし、本業を通じて脱炭素社会への移行を推進
2. 再生可能エネルギー由来の電力導入や廃棄物のリデュース・リサイクルなどを通じ、自社の環境負荷低減を推進
3. 本業で対応できない課題に対しては、寄付やボランティアによる社会貢献活動を通じ、課題解決の取り組みを推進

三菱 UFJ 銀行は、上記取り組みの進捗状況と結果につき、環境省へ報告するとともに、MUFG の統合報告書や、サステナビリティレポート、ホームページ等で定期的に公表します。



「エコ・ファースト企業」認定式
(左から高瀬英明 取締役常務執行役員、八木哲也 環境副大臣)



エコ・ファースト・マーク

以上